



校内に展示されている書の甲子園の入賞作



北広島高校 書道部

3月21日に阪神甲子園球場で開催した選抜高校野球大会。北海道代表の東海大四高校など3校のプラカードの校名を書いたのが北広島高校書道部の皆さん。平成26年度の国際高校生選抜書展（書の甲子園）で、全国準優勝を成し遂げ、与えられた栄誉です。

「東海大四」を担当した副部長の谷脇知佳さんは「全国の皆さんに大きな北海道を感じてもらえるよう、堂々とした書に仕上げました」と話しました。和歌山県の「桐蔭」を書いた部長の池田瑞穂さんは「桐蔭高校のホームページに、野球部の皆さんが『書いてくれてありがとう』とメッセージを載せてくれて感激しました」と、うれしそう。

市内外で幅広く活動している書道部。商業施設などで音楽に合わせて書道をするパフォーマンスも、すっかり定着。「感動しました」と観客に声を掛けら



れる場面もあるそう。レクリエーションの森に書を飾る校外展は同校ならでは。訪れる人に書と自然の調和を楽しんでほしいと毎年開いています。「書を見て心落ち着く時間を過ごす。『書を見て心落ち着く時間を過ごす』と池田さん。

3月に定年を迎えた顧問の石原先生は「書を通して、熱く燃える高校時代を送ってほしい」と部員たちに言葉を送りました。

新年度の目標は、書の甲子園で全国優勝すること、3年全員で大作をつくること、などなど。

先生の教えを胸に、情熱あふれる作品を生み出していくことでしょう。

まめ記者

にこっと笑顔で
あいさつを



東部小学校6年
加藤槇斗さん
(児童会長)

ぼくたち書記局は、「いじめ無し・つながりを深める楽しい学校にする！」を目標に活動しています。1月に東部中学校・北の台小学校と3校同時のあいさつ運動「にこっとおはようキャンペーン」を実施しました。3月には第4弾にまで発展しました。このキャンペーンは、あいさつがよい人にシールを渡すという企画です。

以前はあいさつをする人が決まっていますが、企画が始まってから児童全員のあいさつが元気になるようになりました。このあいさつをこれからも大切にしてほしいと思います。



3校合同あいさつ運動に取り組む